

2019年度 なは市民協働大学院




第4回講座 調査結果と地域課題の発表 ～グループ再編成

【なは市民協働大学院 第4回 講座】

日時：2019年8月29日（木）18時30分～21時

会場：なは市民協働プラザ2階会議室①

参加：受講生 30名、サポメン 4名

那覇人Cheers 6名、学生インターン 5名



第4回目の講座は、地域毎に分かれた6チームそれぞれが、どの学区を選び、どんな調査を行ったのか、そしてそこから見えてきた課題を発表していただきました。発表終了後は、いよいよ企画づくりに向けて動き出します。まずは**チーム再編成**から。発表の結果を受けて、興味や関心ある地域に合わせて移動の機会を設けました。

グループ発表

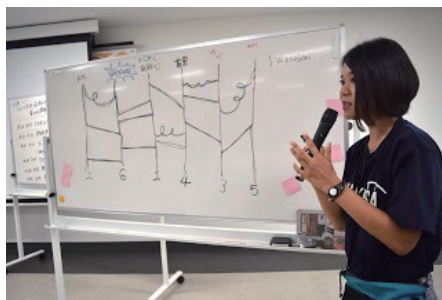
発表は、各チーム7分間、発表形式は各チームの創造力にお任せするかたちとしました！

発表に必須な事項は3つ。

- ・ 学区を選んだ理由
- ・ どんな調査を行ったか
- ・ どんな分析を行ったか

そして、その結果、どのような課題を見つけたか？です。

順番はあみだくじで決めました◎
各チームの発表の様子です！



1. チームWANGAN

天妃小学校区を選んだ那覇西地区のチームWANGANは、元気いっぱいの寸劇形式で発表！

会場を盛り上げてくれます。

新しくまちづくり協議会が立ち上がるようとしているこの地区ですが、「地域でがんばっている人たちにスポットライトが当たっていない」ということを課題として挙げました。



2.首里チーム

首里チームは2つの小学校区について発表。緻密なデータ調査と聞き取りによる努力が光ります。城北小学校区については、「つながりの希薄化」、城南小学校区については、「(観光による)交通問題」を挙げました。



3.中心市街地

前は区域決めに悩んでいましたが、壺屋小学校区に決めたようです。こちらは安里と壺屋にまたがるコミュニティ。「地域と地域が分断されていること」を課題として挙げました。



4.真和志 (チームあかばな)

上間小学校区を選んだ真和志チーム。子どもと地域の関わりに着目してデータを収集。地図などを使用し、わかりやすくまとまっています。「地域住民同士の横の繋がりが無い」ことを課題として挙げていました。



5.わくわく新都心

銘苅小学校、天久小学校区を対象とした新都心チーム。比較的新しい土

地で、個々のコミュニティや活動はあるものの、なかなか新しい人を巻き込んで大きくなっていかない。「参加したくなる地域コミュニティがない」ことを課題としています。



6.小祿

金城小学校区は、なんと1人での報告でした。それでも、Google Earthの使い方はインパクト大でした。「Google先生ー！」で一体感が生まれましたね。

まだまだ調査を深める必要がありつつも、「古いコミュニティと新しい地域のあり方を模索中、深めていきたい」という方向性は見えてきたようです。



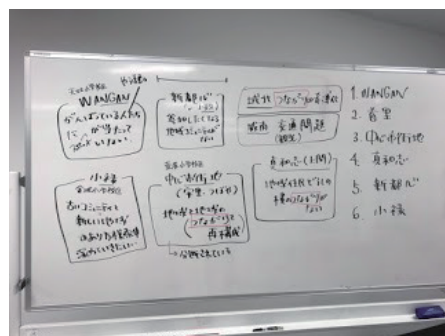
各チーム毎に、発表後は事務局側やチアーズも入り、課題整理をみんなで行いました。



さて、発表もおわり、いよいよ企画づくりに向けて動き出します。まずはチーム再編成から。発表の結果を受けて、興味や関心ある地域に合わせて移動の機会を設けました。

チーム再編成

企画づくりのチームは、結果7つとなりました！メンバーには若干の移動がありましたが、調査をしたチームに残った方がほとんどです。チームは7つに分かれましたが、なほ市民協働大学院、みんなで1つのチームです。似ている課題をもつグループや移動する前のチームとの情報交換や連携もしていきましょう。



新チーム結成！

最後に、それぞれのチームから一人ずつ決意表明していただきました。これから公開講座や合宿、中間発表、最終発表と目白押しです！チーム一丸となって、協働大学院一丸となって、「じっくり、しっかり、ちゃっかり」取り組んでいきましょう！



第2回那覇人Cheersミーティング

9月3日に実施した第2回那覇人Cheersミーティングでは、今までの講座の振り返り、そして受講生も交えて、第4回講座での各グループの発表を振り返りながら、各グループの課題についての助言とテーマに対応する資源の紹介などを行いました。

大学院の概要と今までの講座内容の共有

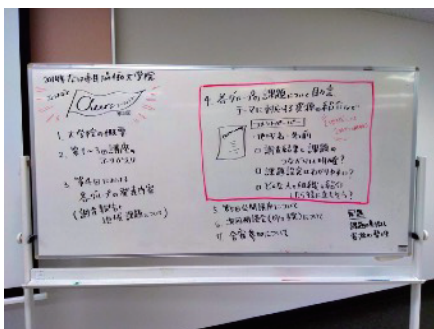
第1回チアーズ会議で配布したスケジュールで現時点までの内容を共有。そして第1回～第3回までの講座の様子を『なは市民協働大学院だより』およびブログを使って振り返りました。



第4回講座における各グループの発表内容（調査結果と課題）

各グループの発表資料をもとに、各グループ3分間ずつ概要を説明しました。また、小祿・那覇西・首里は、受講生が参加していたため、本人たちから直接説明しました！チアーズにはコメントペーパーをお渡しし、各グループの課題に対して以下の内容についてコメントいただきました。

- ・調査結果と課題のつながりは明確か
- ・課題設定はわかりやすいか？
- ・どんな人や組織を紹介したら役に立ちそうか



各グループの課題について助言、テーマに対応する資源の紹介など

この時間は、全ては書き出せないほどの沢山の想いや意見が出てきました。

受講生参加のあった首里グループからは、観光客の交通問題かと思っていたが、調べてみると実は学校送迎の保護者の交通問題が深刻だったなど、発表では伝えられなかった調査内容や課題への思い、今悩んでいる事なども共有していただきました。次回公開講座や合宿前に必要なヒントや助言を沢山いただきました。見てみましょう！



「誰の課題なのか」

この課題に取り組む事によって誰が喜ぶのか、誰を喜ばせたいのか、顔が見えない。顔が思い浮かぶまで掘り下げると課題や取り組むべきことがより具体的になるし、誰の課題なのか明確だと企画や行動にブレがなくなってくる。“これは誰の課題なのか”という視点で何度も課題や調査内容を考えてみてほしい。

「私たちは何ができる？」

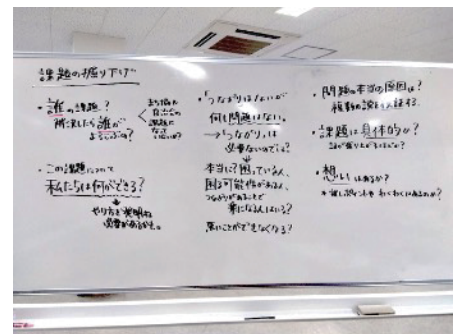
自分事になることは大切。もちろん大きな問題や課題があるのは分かりやすいですが、私たちがやる課題は何か？問い直してみてください。今見えてきた課題や問題を分割して、1人で持てるサイズ、グループで持てるサイズの課題を設定してみるのも1つの手法だと思います。

「つながりやコミュニティが無い=現象」

つながりが無い事は問題や課題ではなく、あくまでも現象や状態。つながりが無い事でどんな問題や課題があるのかより具体的にしてほしい。

つながれば全てが解決するわけでは無いし、繋がる事でどんな問題を解決したいのかを深掘りしてほしい。

そのほかにも、「想いはあるか」「課題は具体的か」「問題の本当の原因は」「課題と手段がごっちゃになっている」「課題って意外と思ひ込みだったりする」など深掘りするの大切なヒントが沢山挙がりました。



また、「課題を明確にできていないというのは、正直「慣れてない」というだけ。なので自分たちがここができていないんだと気づけたことが成果。これから楽しみ」というコメントもありました。

さて、これから公開講座、その次は合宿が待っています！

【第2回相談会：課題の深掘り】

日時：10月3日（木）19時～21時

場所：なは市民協働プラザ2階
会議室①

※チアーズメンバーもアドバイザーとして参加します！

課題は今のままでいいのか？まだまだもやもやしているチームの方々、ぜひご参加ください。

第5回

なは市民協働大学院 2019【公開講座】 地域課題×活動の魅力

ー不完全プランニングとプラスクリエイティブー

いよいよ企画づくりに入る前に開催する第5回講座は、なは市民協働大学院受講生以外も受けることができる公開講座です。

講師の永田宏和氏（NPO法人プラスアーツ理事長）は、楽しみながら学ぶ新しい形の防災訓練「イザ!カエルキャラバン!」の開発をはじめ、子どもたちが様々な分野のプロと協力して夢の街をつくる「ちびっこうべ」や「男・本気のパン教室」から派生したパンじい

という高齢男性が活躍するプロジェクトなど、地域課題をユニークな切り口で企画・プロデュースすることに定評があります。今回は、永田氏に「不完全プランニングとプラスクリエイティブ」というテーマで、人が集まりたくなる企画づくりのコツについてお話いただくと同時に、受講生自身がそれぞれの活動に生かしていくためにはどうすればいいか、考え深める場を設けます。

これからの企画づくりの参考にしてください!



イザ!カエルキャラバン!



ちびっこうべ



本気・男のパン教室

【講師】「情熱大陸」「世界一受けたい授業」でも紹介!



ながた ひろかず
永田宏和

NPO法人プラスアーツ理事長
KIITO副センター長

《プロフィール》

1968年兵庫県西宮市生まれ。1993年大阪大学大学院修了後、株式会社竹中工務店入社。

2001年同社を退社後、企画・プロデュース会社「iop都市文化創造研究所」を設立。

2005年阪神・淡路大震災10周年事業で楽しみながら学ぶ新しい形の防災訓練「イザ!カエルキャラバン!」を開発したことをきっかけにNPO法人プラスアーツを設立し、理事長に就任。その後、同プログラムを首都圏、関西圏、などを中心に全国で展開。2007年横浜・BankARTで開催された「防災とクリエイティビティ」をテーマとした展覧会『地震EXPO』の総合プロデュースを担当。

2008年以降も公共施設や商業施設など様々な場所での防災啓発イベントのプロデュースを手掛ける。また、2007年よりジャワ島中部地震の被災地・ジョグジャカルタで「インドネシア版イザ!カエルキャラバン!」を展開。2010年以降、その活動の輪は中米やモンゴル、ブータン、タイ、フィリピン、ミャンマー、南米チリなど世界15カ国に広がっている。全国各地の自治体が主催する講演会、講座の講師や東京ガス、東京メトロ、無印良品、三井不動産グループなどの企業が展開する防災プロジェクトのアドバイザーも務める。『第6回21世紀のまちづくり賞・社会活動賞』受賞、『第14回防災まちづくり大賞消防科学センター理事長賞』受賞、『第1回まちづくり法人国土交通大臣賞【まちの安全・快適化部門】』受賞。国際交流基金『地球市民賞』受賞。

【予告】第6回 企画づくり強化合宿

第6回講座は「企画づくり強化合宿」です!楽しく親睦を深めながら、提案する企画に対して集中的に考え深めていきます。

日時：10月19日(土) 9時
～20時(日) 12時

場所：森の家みんな

持ち物

- ・これまでの資料 (ファイル・調査結果のまとめ等)
- ・着替え
- ・タオル
- ・石鹸、シャンプー等
- ・1日目の昼食
- ・お米一人1合
- ・地元のカレー食材

※サボメン、チアーズは参加費実費負担

※ 講座終了後、杏屋新都心店にて、永田氏を囲んでの懇親会を予定しています。参加希望の方は、事務局までおしらせください。(実費割勘となります)